

宇治川 塔の島（塔の島・橘島：府立宇治公園）の改変工事が進行しています。  
昨年11月の京都弁護士会の意見書をも軽視して、宇治市民への説明会の開催も拒否したままで、市民の疑問質問意見に答えることもなく、宇治川治水に関係のない島の改変工事が進行しています。20数億円の税金を使って、景観と環境が破壊され、そして今よりも危険になるというとてもない工事です。何故この様な異常な工事がまかり通るのか、義憤を感じます。記録し、記憶し、声を上げねばなりません。あきらめることなく今年もがんばりたいと思います。

2014年1月 宇治・世界遺産を守る会事務局世話人 藪田

【2014年 橘島改変工事： 宇治川護岸改変、島の上面掘削】





2014年1月24日



橘島 宇治川護岸(毎秒1500m<sup>3</sup>放流に対応して1982年完成)を壊している。

橘島 宇治川護岸 低水護岸

2014年1月24日



橘島 宇治川護岸  
低水護岸。

2014年1月29日



2014年1月29日

橘島 島を削っている。

橘島 宇治川護岸(毎秒1500m<sup>3</sup>放流に対応して1982年完成)を壊し、低水護岸の上面も削っている。

【塔の川護岸改変工事】



2014年1月29日  
塔の川護岸工事のための  
塔の川の締切

改変工事で塔の川護岸は今より危険になる 「親水性」を口にしながらなぜ危険にするのか



現状  
改変前の塔の川護岸  
(橘島側)



護岸と水面との差が  
なく、親水性が保た  
れている。  
落水した時でもただ  
ちに手を伸ばして救  
助できる。

現状  
 改変前の塔の川  
 護岸  
 (橋島側と塔の島  
 下流半分)

橋島で護岸と水面との差がない  
 時の塔の島の護  
 岸と水面の差は  
 0.5m。  
 まだ、親水性が  
 保たれている。  
 落水した時でもた  
 だちに手を伸ば  
 して救助できる。

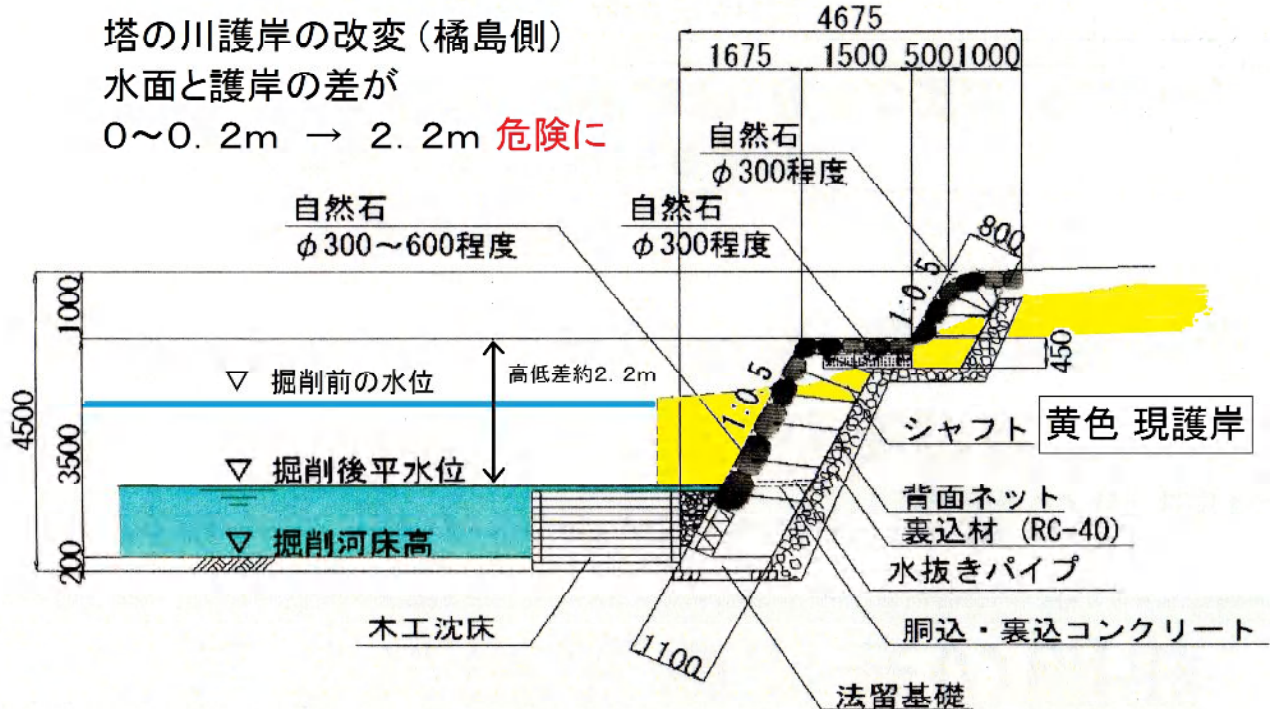


### 改変工事内容

塔の川護岸の改変(橋島側)

水面と護岸の差が

0~0.2m → 2.2m 危険に



護岸改変工事と河床掘削による水位低下で、護岸と水面との差は0~0.2mから約2.2mの差に拡大する。水に近寄れない。落水すれば手は届かず、救助できない。なぜ10億円もかけてこの様に危険な護岸に改変するのでしょうか。

塔の川護岸改変（喜撰橋上流部）は、2013年3月に工事が終了しています。



石積みの下、木工沈床の天端が平常水位の高さです。護岸と水位の差が、写っている人間の大きさと比べて見れば、いかに大きいか分かります。



工事終了後の現在の水位は仮の姿です。上流の工事用締切矢板を撤去すれば水位は下がります。



水位が下がれば護岸から船に乗れません。どうしてこの様に奇妙な護岸が計画、施工されるのでしょうか。